

平成18年度予算の特色

1. 国債発行額 <29兆9,730億円(▲4.4兆円)>
「30兆円」を下回る水準を達成
(13年度予算(28.3兆円)以来、5年ぶり)

- ・過去最大の減額幅(対前年度▲4.4兆円の減)
- ・それでもなお国債残高は、前年度比で増加する見込み
18年度末普通国債残高(見込み) 542兆円(+5.3兆円)

2. 公債依存度 <37.6%(17年度:41.8%)>
14年度予算(36.9%)以来、4年ぶりの30%台復帰

3. 一般歳出 <46.4兆円(対前年度▲0.9兆円)>
17年度予算(▲0.3兆円)に引き続き、2年連続で減額

4. 一般会計 <79.7兆円(対前年度▲2.5兆円)>
10年度予算(77.7兆円)以来、8年ぶりに70兆円台へ

- ・一般会計の減額は、14年度予算以来4年ぶり。

5. 基礎的財政収支 <▲11.2兆円(対前年度+4.7兆円の改善)>
16年度予算から3年連続で改善

- ・昨年(+3.1兆円)を上回る+4.7兆円の回復(ここ3年間、着実に改善)

15年度		16年度		17年度		18年度
▲19.6兆円	⇒	▲19.0兆円	⇒	▲15.9兆円	⇒	▲11.2兆円
		+0.6兆円		+3.1兆円		+4.7兆円